

## 横浜市神奈川区精神障害者生活支援センター 平成24年度事業報告書

### 1 一次相談支援機関としての機能強化

地域精神保健福祉の中核施設として、ケアマネジメント手法に基づく相談支援を展開しました。来館を待つだけのスタンスではなく、積極的に訪問・同行（アウトリーチ型支援）を行えるよう体制づくりを行いました。精神障害者や家族が「まずは相談してみよう」と思えるワンストップサービスの拠点を目指しました。

(1) 地域の精神保健福祉関係機関によるスタッフ連絡会や自立支援協議会での連携を進めました。

#### 【地域連携の5つの基本方針】

- ① 日常的なかかわりから具体的な連携を図る
- ② 地域と顔が見える連携を図り、信頼関係を築く
- ③ 連携によって生まれるメリットを地域で共有
- ④ 「制度の隙間」を埋める新たな支援サービスを生み出す連携
- ⑤ 施設の機能や個性を発揮し協働に生かした

(2) 他の施設との連携による事業展開を図りました。

菅田地域ケアプラザとの共同企画による地域支援事業を実施しました。

- ア 地域住民を対象とした生活支援センターの啓発
- イ 地域で過ごす居場所支援として、プログラムを組み込んだフリースペースの開催
- ウ 当事者や家族の把握・相談・支援の実施

(3) 横浜市総合保健医療センター各部門との連携・協力

横浜市総合保健医療センターでは、精神障害のある方々の精神科デイケア、就労移行支援、自立訓練、就労支援等の諸事業を総合的に実施していますので、これらの事業と緊密に連携して、利用者の支援の充実を図りました。

### 2 精神障害者地域移行・地域定着支援事業の推進

長期入院者の解消に向け、ケアマネジメントの手法に基づく個別支援を実践するとともに、医療機関などとの地域連携強化を図りました。

(1) ケアマネジメントの手法に基づく支援を行いました。

退院と地域生活の定着に向けて、ケアマネジメントの手法に基づく支援を行いました。本人だけでなく、本人をとり巻く環境にも焦点をあてた多面的なアセスメントを行い、「受け入れ条件」の整備を行いました。

(2) 地域での連携を強化し、退院を促進する地域体制整備に取り組みました。

- ア スタッフ連絡会などの地域ネットワーク会議を活用し、地域課題の抽出を図りました。また、その課題の自立支援協議会への提案を図りました。
- イ 横浜市総合保健医療センターの機能を活かした地域移行システムづくりをすすめました。
- ウ 横浜市の施策に即応した事業展開を行うとともに、政策につながるような提言活動も行いました。

### 3 自立生活アシスタント事業への取組

アウトリーチ型の支援を軸に、安心した地域生活に向けた支援を行いました。

#### (1) ケアマネジメント手法に基づく支援を行いました。

生活の場に出向く支援を展開し、地域連携（チームアプローチ）による支援を行いました。

#### (2) 精神科医が支援のバックアップを行いました。

利用者の支援方法について多角的に検討するため、横浜市総合保健医療財団の精神科医との面談を行いました。

#### (3) 地域へのPRを行いました。

積極的に地域に出向き、家族や地域の方々にも事業の啓発を行いました。

### 4 生活支援を中心とした従来の機能と相談支援機能の協調の推進

精神障害者が地域で安心して生活を送るために、横浜市の生活支援センターには次の3点を不可欠な機能として求められています。これらを踏まえて多角的な視点を持ち支援しました。

#### ① 生活の支援（地域生活の維持）

安心した地域生活の継続のために、いつでもサービスを提供できる体制整備を目指す。

#### ② 生活の相談（地域生活における問題解決）

幅広い相談に応じ、地域の課題の把握に努め、ケアマネジメントの機能を発揮する。

#### ③ 地域連携・地域交流（地域ネットワーク構築）

関係機関との連携や交流から、新たな支援サービスの発展を目指す。

#### (1) 精神障害者や家族に向けて、生活に関する講座や家族向け講座を開催しました。

ア 各種制度利用についての講座

イ 家族教室・生活講座等

#### (2) ピア活動の充実を図りました。

昨年に引き続き、ピア活動希望者を対象とした講座を実施しました。

地域移行・地域定着支援事業や各種プログラムにおけるピア活動の充実を図りました。

#### (3) 精神障害者の再発予防の観点から、日中のやすらぎの場の保障を重要課題と捉え、いつでも利用できる居場所を保障しました。

ア 季節感のある館内の環境整備を行う。

イ 館内で過ごす利用者との生活場面での面接など、「相談しやすい」環境の整備を図る。

## 5 業務運営推進

### (1) 広報

神奈川区生活支援センター便りやリーフレット等の作成及び横浜市総合保健医療財団のホームページにアップする等、地域への広報を充実させ、利用促進を図りました。

#### ア 神奈川区生活支援センター便り（毎月発行）

A3二つ折り

※ 神奈川区生活支援センター便りの配布先（メール送信先含む）

来館者を始め、行政機関及び医療・福祉・作業所・グループホーム・団体などの関係機関

#### イ リーフレット

神奈川区生活支援センターの紹介や利用案内を掲載したリーフレットを作成

※ リーフレットの配布先

新規利用や見学等の来館者

#### ウ 横浜市総合保健医療財団ホームページの活用

神奈川区生活支援センター便りを横浜市総合保健医療財団のホームページに掲載

### (2) 人材育成の取組

専門知識の取得や相談支援スキルの向上等、職員の資質の向上を図るため、各種研修への参加や自己研鑽の取組を進めました。

### (3) 個人情報保護の徹底及び緊急時の対応

当事者及び家族等の個人情報の保護を徹底するため、毎年職員研修を実施しました。

ヒヤリハット・事故報告・他機関での事例を共有し、必要な事故防止策を講じるとともに事故発生時等緊急時に迅速且つ的確な対応をとれる態勢を整えました。

### (4) ニーズ把握と苦情処理等

利用者ミーティングの開催やフリースペースに設置される意見箱等を通じて、利用者からの意見に耳を傾け、定期的にアンケートを実施し、神奈川区生活支援センターの運営に反映させました。

苦情処理については、神奈川区生活支援センターの利用者や家族等関係者に、苦情処理の仕組みや受付担当者、解決責任者の名前を神奈川区生活支援センター内に掲示し周知するとともに、出された苦情について迅速で適切な解決を図りました。

横浜市神奈川区精神障害者生活支援センター 平成24年度 利用状況及び支援内容

(1) 利用状況及び支援内容

(人)

(日)

全体	内訳					
	本人(男性)	本人(女性)	家族	ボランティア等	電話	訪問同行
31,255	11,304	2,948	112	340	16,266	285

開所日数
353

(2) 相談支援

ア 相談支援

(人)

合計	電話(再掲)		面接		訪問・同行(再掲)		面接(非構造)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
19,334	8,155	8,111	692	470	161	124	1,059	562
1日平均	46.1		3.3		0.8		4.6	

イ 嘱託医相談

(人)

嘱託医相談(精神科・内科)				
実施回数	合計	男性	女性	家族等
26回	33人	18	14	1

(3) 生活支援

(人)

食事サービス			入浴サービス			インターネットサービス		
合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
7,417	5,240	2,177	3,697	3,409	288	500	348	152
1日平均	21.0		1日平均	10.5		1日平均	1.4	

(4) 利用登録内訳

利用登録の有無にかかわらずセンターは利用できますが、食事、入浴サービスを利用する場合には登録が必要です。

ア 男女別・年齢別

(人)

(歳)

	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～(歳)	不明	合計
男性	0	35	99	182	150	118	0	584
女性	2	11	64	96	54	46	1	274
合計	2	46	163	278	204	164	1	858

最高	最低	平均
89	20	43.9
79	18	42.3
89	18	43.5

## イ 区別内訳

(人)

鶴 見	神 奈 川	西	中	南	港 南	保土ヶ谷	旭	磯 子	金 沢
100	334	16	51	45	15	31	24	16	14
港 北	緑	青 葉	都 筑	戸 塚	栄	泉	瀬 谷	市外他	合 計
76	25	6	10	19	6	10	9	51	858

## (5) 自主企画事業

スタッフが企画をしているプログラム以外に、利用者が中心となって企画運営を行うサークル活動があります。また、地域住民を対象としたボランティア講座や、家族を対象とした家族教室等も実施しています。

名称		回数	参加人数
プログラム・行事	利用者ミーティング	12	70
	映画会	12	52
	昼食会	12	78
	季節行事（お正月、ひなまつり、お花見、花火見物）	4	38
	バスハイク	1	24
	カラオケアワー	23	211
	就労相談	3	3
	就労講座・S S T	24	131
	パソコン講座	8	23
	退院促進啓発事業、打合せ	11	178
サークル	スポーツサークル	16	112
	Café de すいーつ	10	54
	カメラの会	16	52
その他	家族講座	1	21
	消防訓練	3	18
	神奈川区生活支援センター運営連絡会	2	47
	夕食サービス向上委員会	12	61
合計		170	1,173

(6) 地域交流

名称	回数	人数
福祉まつり、お祭りを楽しむ会実行委員会	4	11
町内会、盆踊り	1	6
わかば会（家族会）例会	8	16
納涼会、納涼会会議	5	157
クリスマス会、クリスマス会打ち合わせ	3	132
にじの会お茶会	1	25
新春の集い	1	106
喫茶コーナー（せせらぎ）	28	627
合計	51	1080

(7) 地域会議等

名称	回数	人数
通所施設（浦島共同作業所、青桐茶房、青桐ハイツ、せせらぎ、ひふみ、ほのぼの、ペガサス、わかば工芸）運営委員会	15	15
法人（ペガサスの会、ドレミファ会）運営委員会、総会	2	34
にじの会（ボランティア）例会	6	7
神奈川区自立支援協議会	16	18
神奈川区スタッフ連絡会	4	91
退院促進支援部会・ブロック会議	15	15
はーと友事務連絡会	4	4
市精連 横浜精神保健福祉研究所スタッフ会議	4	6
合計	66	190

(8) 地域移行・地域定着支援事業

長期入院者の解消に向け、ケアマネジメントの手法に基づき個別支援を実践するとともに、医療機関などとの地域連携強化を目的に活動しました。

平成24年度は、支援対象者9人のうち、4人が退院しました。

支援対象者数	病名	帰結	退院後の帰来先
9人	・統合失調症 7人	・退院 4人	・生活訓練施設 3人
	・その他 2人	・支援継続 3人	・グループホーム 1人
		・支援中止 2人	

また、啓発を目的に紫雲会横浜病院にて当事者及び病院関係者を対象として、ピアサポーターやボランティアも参加して、体験発表や資源紹介と交流会を実施しました。

実施場所	実施回数	参加当事者数	参加支援者数
紫雲会横浜病院	9回	118人	79人

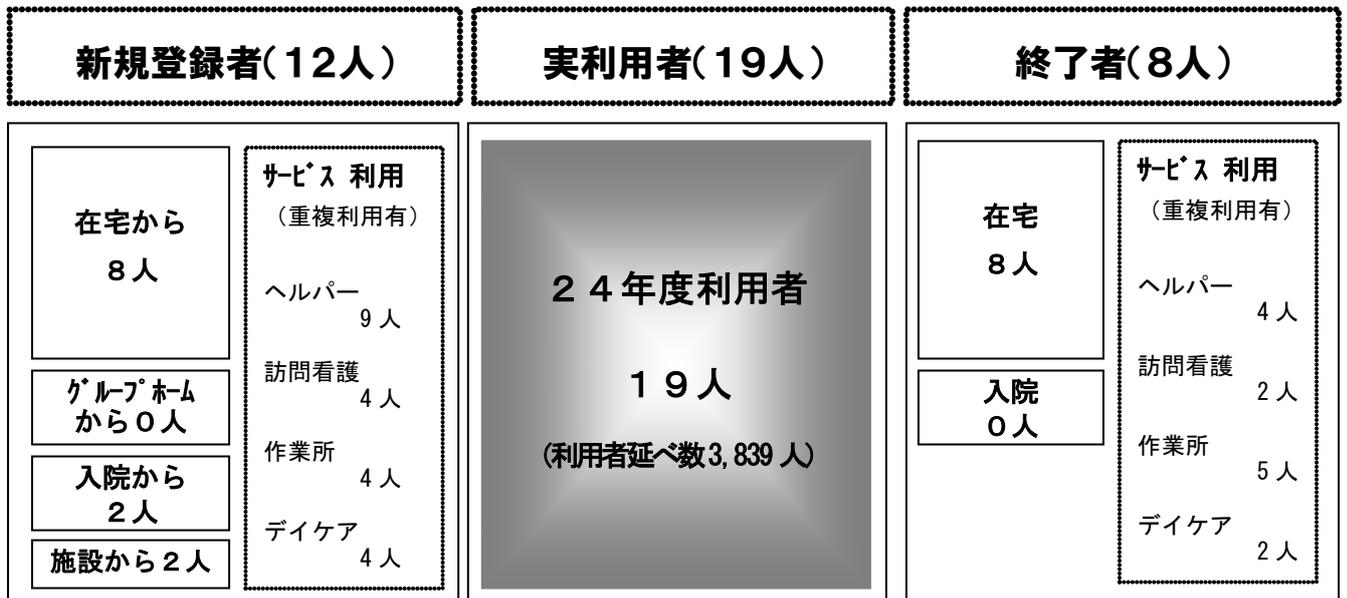
(9) 横浜市障害者自立生活アシスタント事業

単身等で生活する方を対象に、アウトリーチ型の支援を行います。訪問や外出同行などを行い、生活場面でのかかわりを重視します。また、地域の資源との連携の中で支援を展開します。事業開始2年目となる今年度は昨年度と比べ相談・利用件数が増加し、実利用者は19人でした。

「一人暮らしを始めるのでサポートを受けたい」「金銭管理がうまくできるようになりたい」などの個別のニーズに対応し、利用者の社会適応力・生活力を高めるオーダーメイドの支援を展開します。

リカバリーの視点を意識し、本人のストレングスを活かした支援、本人にとってより自分らしい地域での生活を目指します。

平成24年度 自立生活アシスタント 利用者の状況



本表は24年度中における登録、利用、終了の状況をそれぞれ示したものである。したがって利用者及び終了者は24年度中の終了者とは限らない。

24年度利用者の状況、支援方法・内容

<世代別・男女別>

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	1	2	4	4	2	13
女性	1	2	1	0	2	6
計	2	4	5	4	4	19

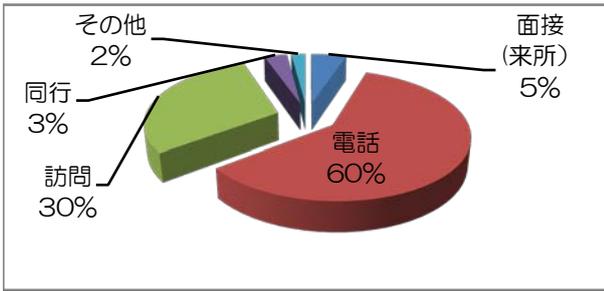
<利用目的>

①自立生活 (②以外)	②自立生活 (同居家族 の高齢化・ 死亡)	③退所後の 生活の安定	④退院後の 生活の安定	⑤その他	合計
10	2	4	3	0	19

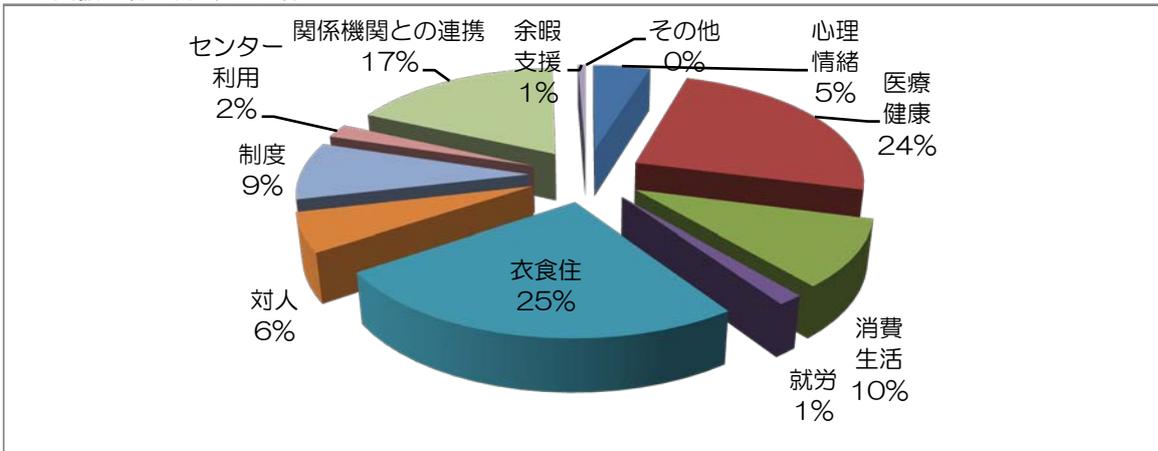
<世帯状況>

家族同居	単身	合計
2	17	19

<支援方法>計1,425件



<支援内容>計3,278件



(10) 地域支援事業

平成21年度より菅田地域ケアプラザと共同で、生活スキル向上の機会やフリースペース提供、個別の相談の場などを実施しました。

名 称	回数	参加人数
生活スキルアップ講座	7	16
健康ストレッチ講座	5	8
フリースペース	6	11
こころの健康個別相談会	4	5
菅田地区公開講座	1	26
他区との地域交流活動勉強会	1	11
合 計	24	77

(11) リワークフォローアップ事業

平成22年5月から、総合保健医療センター精神科デイケアの「復職サポートプログラム」の修了者を対象として、生活面のフォローアップを行う事業を毎月1回実施しています。

名 称	回数	参加人数	職員
リワークフォローアップ事業	12	55	24

(12) ピア活動支援

当事者活動の定着、活性化を目的に、ピアサポーター講座とフォローアップ講座を開催しました。また、月に1回のピアミーティングは、メンバー主導で行い、新規来所者に向けて、利用者視点で伝えたいことをまとめた壁新聞の作成などが実現しました。

名 称	回数	参加人数	職員
ピアミーティング	14	97	27
ピアサポーター講座	6	30	24
ピアサポーター フォローアップ講座	1	8	2
合計	21	135	53

(13) 発達障害者支援事業

今年度は、発達障害者支援センターと連携の在り方を模索すべく、関係機関と6回の話し合いを行いました。

平成24年度横浜市精神障害者生活支援センター精算内訳

施設名：横浜市神奈川区精神障害者生活支援センター

運営法人：公益財団法人横浜市総合保健医療財団

【支出】

科 目	当初予算額				執行額				差引増△減			
	計	生活支援センター運営	地域移行・地域定着	自立生活アシスタント	計	生活支援センター運営	地域移行・地域定着	自立生活アシスタント	計	生活支援センター運営	地域移行・地域定着	自立生活アシスタント
人件費	56,225,000	37,672,000	6,184,000	12,369,000	56,260,631	37,694,623	6,188,669	12,377,339	△ 35,631	22,623	4,669	8,339
所長	3,743,000				4,086,400				△ 343,400			
常勤職員	26,449,000				27,638,327				△ 1,189,327			
非常勤職員	12,349,000				11,747,585				601,415			
アルバイト	2,350,000				2,204,885				145,115			
調理アルバイト	2,406,000				2,543,759				△ 137,759			
嘱託医賃金	1,008,000				252,000				756,000			
法定福利費	6,028,000				6,764,127				△ 736,127			
退職給付引当資産取得	1,700,000				854,700				845,300			
福利厚生費	54,000				60,000				△ 6,000			
労務厚生費	138,000				108,848				29,152			
施設管理費	7,813,000	6,407,000	781,000	625,000	7,305,098	5,990,180	730,510	584,408	507,902	△ 416,820	△ 50,490	△ 40,592
光熱水費	4,051,000				4,081,922				△ 30,922			
庁舎管理	3,873,000				3,592,876				280,124			
修繕積立金	300,000				0				300,000			
入浴サービス等実費徴収額	△ 411,000				△ 369,700				△ 41,300			
運営費	3,639,000	2,984,000	365,000	290,000	3,784,487	3,103,279	378,449	302,759	△ 145,487	119,279	13,449	12,759
旅 費	435,000				258,160				176,840			
消耗品費	1,075,000				1,665,566				△ 590,566			
印刷製本費	18,000				113				17,887			
修繕費	600,000				477,134				122,866			
通信運搬費	462,000				505,903				△ 43,903			
賃借料	337,000				331,863				5,137			
備品等購入費	343,000				224,112				118,888			
保険料	209,000				193,410				15,590			
雑費	160,000				128,226				31,774			
本部繰入金	0				0				0			
合 計	67,677,000	47,063,000	7,330,000	13,284,000	67,350,216	46,788,082	7,297,628	13,264,506	326,784	-274,918	-32,372	-19,494